

平成26年度高齢者食生活改善事業 食の講演開催要綱

『生活の変化に対応した食生活』

1. 目的 日頃からバランスのとれた食生活を送ることは大切なことですが、高齢や一人暮らしなどそれぞれの生活様式によってはなかなか難しい面もあります。
また、大雪や大雨などの天候不順や災害時など非日常の場面になると、それはより一層難しくなってきます。
そこで、私たちがどのような生活様式でも安心した食生活を送ることができるよう、生活の様々な変化に対応するための工夫や備えについて学びます。
2. 主催 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会
3. 後援 名寄市
4. 日時 平成26年11月14日（金）
午後1時30分～午後3時30分（13時00分受付開始）
5. 場所 名寄市総合福祉センター（名寄市西1条南12丁目）
6. 参加対象 名寄市民であり高齢者の食生活に関心のある方
7. 参加費 無料
8. 内容 ①シンポジウム「災害時の食を考える」
報告者 調理実習参加者代表者
※同日午前中に行う「もしもに備えた調理実習～生活を支える関係づくり～」参加者
報告者 菅原 清香 氏
（一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 福祉・防災学習コーディネーター）
②講演「生活の変化に対応した食生活」
講師 篠原 辰二 氏
（一般社団法人ウェルビー・デザイン 理事長）
9. 申込方法 平成26年11月7日（金）までに別紙申込用紙、電話、ファックス等にて名寄市社会福祉協議会お申込下さい。

◆講師紹介

菅原 清香 氏

(一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン 防災・福祉学習コーディネーター)

宮城県仙台市出身。東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科卒。健康心理士。

大学時代に所属したボランティアサークルにおける防災教育活動や、2008年岩手・宮城内陸地震における災害ボランティア活動をきっかけに、地域防災・防災教育活動、災害支援活動に取り組み始める。2012年6月より現職に着任。

防災や福祉に関する研修会などで講師を務めるなかで、災害時においても健康的な食生活を送ることができるような炊き出し訓練の企画などにも携わっている。

篠原 辰二 氏

(一般社団法人 ウェルビー・デザイン 理事長)

北海道内2つの市町において計14年間、社会福祉協議会職員として勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。

篠原社会福祉士事務所代表、一般社団法人 Wellbe Design 理事長、特定非営利活動法人 Facilitator Fellows 理事兼事務局長、コミュニティ・エンパワメント・オフィス Feel Do 主任研究員、北海道社会福祉研究所研究員、北海道地域福祉学会理事兼事務局長。社会福祉士。防災士。1976年生まれ。道都大学社会福祉学部卒、北海道伊達市出身。

【お問い合わせ・お申込先】

社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会 地域支援係（担当：小笠原）
〒096-0011 名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内
TEL：01654-3-9862 / FAX：01654-3-9949
E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp